

平成 27 年 4 月 20 日

各 位

会 社 名 H a m e e 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 樋 口 敦 士
(コード番号：3134 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 コ ー ポ レ ー ト 統 括 本 部 本 部 長 水 島 育 大
(TEL. 0465-22-8043)

東京証券取引所マザーズ市場への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、平成 27 年 4 月 20 日に東京証券取引所マザーズに上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

なお、平成 27 年 4 月期（平成 26 年 5 月 1 日～平成 27 年 4 月 30 日）における当社グループの連結業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報につきましては別添のとおりであります。

【連結】

(単位：百万円・%)

項目	決算期			平成 27 年 4 月期 (予想)		平成 27 年 4 月期 第 3 四半期累計期間 (実績)		平成 26 年 4 月期 (実績)	
		構成比	前年比		構成比		構成比		
売 上 高	5,142	100.0	109.9	4,325	100.0	4,681	100.0		
営 業 利 益	353	6.9	155.7	266	6.2	226	4.8		
経 常 利 益	346	6.7	155.5	270	6.3	222	4.8		
当期（四半期）純利益	214	4.2	175.8	160	3.7	121	2.6		
1 株 当 たり 当 期 (四 半 期) 純 利 益	137 円 58 銭			104 円 14 銭		78 円 88 銭			
1 株 当 たり 配 当 金	0 円 00 銭			—		0 円 00 銭			

- (注) 1. 平成 26 年 4 月期（実績）及び平成 27 年 4 月期第 3 四半期累計期間（実績）の 1 株当たり当期（四半期）純利益は期中平均発行済株式数により算出しております。平成 27 年 4 月期（予想）の 1 株当たり当期純利益は、公募による新株式発行予定数（310,000 株）を考慮した予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資に係る株式数（最大 59,500 株）は考慮しておりません。
2. 平成 26 年 12 月 11 日付で普通株式 1 株につき 200 株の株式分割を行っております。上記では平成 26 年 4 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期（四半期）純利益及び 1 株当たり配当金を算出しております。
3. 平成 27 年 4 月期（予想）につきましては、その重要性に鑑み、連結通期業績予想のみを開示し、個別の業績予想については開示しておりません。

【平成 27 年 4 月期業績予想の前提条件】

(1) 売上高

平成 27 年 4 月期の売上高については、前年比 9.9%増の 5,142 百万円を見込んでおります。売上高の予想を算出するうえで、セグメント別に勘案した前提条件は以下のとおりであります。

① モバイル（スマートフォン）アクセサリ等の自社EC販売、卸販売事業（コマース事業）

インターネット通信販売においては、過去実績、iPhone等の新規機種が発売される予定時期等を勘案のうえ、インターネット店舗別に月ごとの売上高を見積り、それらを積み上げることで売上高の予想値を算出しております。既存店舗の売上高について、過去実績と同様の伸びが期待できることから、売上高は前年比 14.4%の増加を見込んでおります。

卸販売においては、過去実績及び主要取引先からの引き合い情報を基に、主要取引先の店舗別に月ごとの売上高を見積り、それらを積み上げることで売上高の予想値を算出しております。引き合い情報から、自社企画商品やiPhone用商品について、引き続き需要が堅調であるものの、保守的に前年並みの売上高を見込んでおります。

以上によりコマース事業の売上高については、前年比 7.7%増の 4,513 百万円を見込んでおります。

② EC向けバックオフィスシステム（クラウド形態）の開発、提供事業（プラットフォーム事業）

過去実績等を勘案のうえ、月ごとにネクストエンジンメイン機能の新規契約獲得件数及び解約数を見積り、当該契約数に顧客平均単価を乗じることで売上高の予想値を算出しております。平成 27 年 4 月期第 3 四半期までの実績（契約純増加数 211 社）の状況により、平成 26 年 4 月期実績（契約純増加数 299 社）と同程度の契約社数の伸びが期待できるものとして、売上高は前年比 28.5%増の 629 百万円を見込んでおります。

(2) 売上原価及び製造原価

売上原価及び製造原価見積りの前提条件は以下のとおりであります。

① コマース事業

売上原価については、インターネット通信販売、卸販売とも、過去実績及び商品戦略等を勘案のうえ原価率を見積もり、インターネット店舗別及び主要取引先の店舗別に売上原価を見積もっております。なお、見積りに当たっては、過去実績及び主要取引先からの引き合い情報などに基づき、自社企画商品の比率が前年実績と比べ 1 割程度上昇することを見込んでおります。

② プラットフォーム事業

製造原価については、人員計画及び開発計画をもとに見積もっております。

(3) 営業利益

販売費及び一般管理費について、個別に発生する費用を積み上げるとともに、変動費については前年実績を基にして、売上高の増加に比例させる方法により見積もった結果、営業利益は前年比 55.7%増の 353 百万円を見込んでおります。

(4) 経常利益

営業外損益として、経常的に発生する支払利息等を見込んでおり、経常利益は前年比 55.5%増の 346 百万円を見込んでおります。なお、営業外損益に、前年実績と比べて大きく変動する事項はありません。

(5) 当期純利益

以上の結果、当期純利益は前年比 75.8%増の 214 百万円を見込んでおります。なお、特段の特別利益及び特別損失はいずれも見込んでおりません。

本資料に記載されている当社グループの当期の連結業績予想は、本資料の日付時点において入手可能な情報による判断及び仮定を前提としており、実際の業績は様々な要因によって異なる場合があります。

平成27年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年4月20日

上場会社名 Hamee株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3134 URL http://hamee.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 敦士
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート統括本部 (氏名) 水島 育大 TEL 0465 (22) 8043
 本部長
 四半期報告書提出予定日 — 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年4月期第3四半期の連結業績（平成26年5月1日～平成27年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年4月期第3四半期	4,325	100.0	266	6.2	270	6.3	160	3.7
26年4月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年4月期第3四半期 169百万円 (3.9%) 26年4月期第3四半期 -百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年4月期第3四半期	104.14	—
26年4月期第3四半期	—	—

(注) 1. 当社は平成27年4月期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年4月期第3四半期実績及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2. 当社は、平成26年12月11日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年4月期第3四半期	2,058	844	41.0	547.07
26年4月期	1,740	675	38.8	437.67

(参考) 自己資本 27年4月期第3四半期 844百万円 26年4月期 -百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年4月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年4月期					
27年4月期(予想)					

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年4月期の連結業績予想（平成26年5月1日～平成27年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,142	9.9	353	55.7	346	55.5	214	75.8	137.58

(注) 1. 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 平成27年4月期(予想)の1株当たり当期純利益は、公募による新株式発行予定数(310,000株)を考慮した予定期中平均発行済株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資に係る株式数(最大59,500株)は考慮しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社 （社名）Hamee US, Corp.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年4月期3Q	1,544,000株	26年4月期	7,200株
② 期末自己株式数	27年4月期3Q	一株	26年4月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年4月期3Q	1,544,000株	26年4月期3Q	7,200株

(注) 当社は、平成26年12月11日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行っておりますが、期末発行済株式数及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 経営成績に関する説明	4
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	6
4. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	10
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、平成26年12月発表の日銀短観によると、大企業製造業のDI（業況判断指数）がプラス12と前回調査から1ポイント悪化したものの、設備投資計画は前回調査から上方修正されるなど、依然として堅調を維持しております。

平成26年8月に経済産業省が発表した「平成25年度我が国経済社会の情報化・サービス化に係る基盤整備（電子商取引に関する市場調査）報告書」によると、平成25年（平成25年1月～平成25年12月）のわが国のEC市場規模は11兆1,660億円で、前年に比べ1兆6,530億円伸びるなど、当社グループが属するEC業界についても着実な成長が続いております。

このような経営環境のもと当社グループは、モバイル（スマートフォン及び携帯電話）アクセサリーの販売について、量販店向けの卸販売を中心に利益率の高い自社企画商品の販売拡大に注力いたしました。また、自社利用の目的で開発し、平成20年よりEC事業者向けにリリースしたASPサービス「ネクストエンジン」をECバックオフィスシステムのデファクト・スタンダードとすべく、契約社数の増加を図りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,325,600千円、営業利益266,092千円、経常利益270,799千円、四半期純利益160,785千円となりました。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

①コマース事業

コンシューマー向けEC及び卸販売ともに、スマートフォンで自分自身を撮影するためのモバイルアクセサリー（セルフイースティック）や、ディズニーキャラクターのおしり型充電器などの自社で企画した商品の販売拡大に注力したほか、9月に販売が開始されたiPhone6向けケースの企画販売にいち早く取り組み、積極的な販売拡大施策を実施いたしました。

この結果、コマース事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は3,864,280千円、セグメント利益（営業利益）は165,318千円となりました。

②プラットフォーム事業

EC市場は引き続き拡大傾向にあり、EC事業への参入事業者も増加していることから、当社のサービス、ネクストエンジンの需要は益々高まっているものと認識しております。大手インターネットショッピングモール様、EC関連サービス事業者様とも協力し、EC事業者向けセミナー等を数多く開催して、契約増加を図った結果、ネクストエンジンの契約数1,707社（OEM除く、前連結会計年度末比211社増）、利用店舗数12,429店、利用店舗の取引総額1,791億円、受注処理件数24百万件（自社調べ）となりました。

この結果、プラットフォーム事業の当第3四半期連結累計期間の売上高は461,319千円、セグメント利益（営業利益）は100,774千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末と比べ318,230千円増加し、2,058,294千円（前年度比18.3%増）となりました。これは、売掛債権の増加160,975千円、たな卸資産の増加231,038千円などの要因によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比べ149,318千円増加し、1,213,612千円（前年度比14.0%増）となりました。これは、長期借入金の増加138,871千円などの要因によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比べ168,912千円増加し、844,681千円（前年度比25.0%増）となりました。主な要因は、四半期純利益160,785千円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(売上高)

平成27年4月期の売上高については、前年比9.9%増の5,142百万円を見込んでおります。売上高の予想を算出するうえで、セグメント別に勘案した前提条件は以下のとおりであります。

①モバイル（スマートフォン）アクセサリー等の自社EC販売、卸販売事業（コマース事業）

インターネット通信販売においては、過去実績、iPhone等の新規機種が発売される予定時期等を勘案のうえ、インターネット店舗別に月ごとの売上高を見積り、それらを積み上げることで売上高の予想値を算出しております。既存店舗の売上高について、過去実績と同様の伸びが期待できることから、売上高は前年比14.4%の増加を見込んでおります。

卸販売においては、過去実績及び主要取引先からの引き合い情報を基に、主要取引先の店舗別に月ごとの売上高を見積り、それらを積み上げることで売上高の予想値を算出しております。引き合い情報から、自社企画商品やiPhone用商品について、引き続き需要が堅調であるものの、保守的に前年並みの売上高を見込んでおります。

以上によりコマース事業の売上高については、前年比7.7%増の4,513百万円を見込んでおります。

②EC向けバックオフィスシステム（クラウド形態）の開発、提供事業（プラットフォーム事業）

過去実績等を勘案のうえ、月ごとにネクストエンジンメイン機能の新規契約獲得件数及び解約数を見積り、当該契約数に顧客平均単価を乗じることで売上高の予想値を算出しております。平成27年4月期第3四半期までの実績（契約純増加数211社）の状況により、平成26年4月期実績（契約純増加数299社）と同程度の契約社数の伸びが期待できるものとして、売上高は前年比28.5%増の629百万円を見込んでおります。

（売上原価及び製造原価）

売上原価及び製造原価見積りの前提条件は以下のとおりであります。

①コマース事業

売上原価については、インターネット通信販売、卸販売とも、過去実績及び商品戦略等を勘案のうえ原価率を見積り、インターネット店舗別及び主要取引先の店舗別に売上原価を見積もっております。なお、見積りに当たっては、過去実績及び主要取引先からの引き合い情報などにに基づき、自社企画商品の比率が前年実績と比べ1割程度上昇することを見込んでおります。

②プラットフォーム事業

製造原価については、人員計画及び開発計画をもとに見積もっております。

（営業利益）

販売費及び一般管理費について、個別に発生する費用を積み上げるとともに、変動費については前年実績を基にして、売上高の増加に比例させる方法により見積もった結果、営業利益は前年比55.7%増の353百万円を見込んでおります。

（経常利益）

営業外損益として、経常的に発生する支払利息等を見込んでおり、経常利益は前年比55.5%増の346百万円を見込んでおります。なお、営業外損益に、前年実績と比べて大きく変動する事項はありません。

（当期純利益）

以上の結果、当期純利益は前年比75.8%増の214百万円を見込んでおります。なお、特段の特別利益及び特別損失はいずれも見込んでおりません。

（注）業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、Hamee US, Corp. は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	526,044	453,639
受取手形及び売掛金	640,490	801,465
商品	238,047	469,069
貯蔵品	117	133
繰延税金資産	35,728	37,806
その他	99,159	146,149
貸倒引当金	△ 6,169	△ 17,100
流動資産合計	1,533,418	1,891,163
固定資産		
有形固定資産		
建物	55,091	55,691
減価償却累計額	△ 8,369	△ 15,857
建物(純額)	46,721	39,833
工具、器具及び備品	16,297	22,148
減価償却累計額	△ 8,799	△ 13,219
工具、器具及び備品(純額)	7,497	8,929
有形固定資産合計	54,219	48,763
無形固定資産		
ソフトウェア	66,636	73,902
その他	28	28
無形固定資産合計	66,665	73,931
投資その他の資産		
投資有価証券	146	146
関係会社株式	49,295	—
保険積立金	20,888	23,933
繰延税金資産	2,758	4,269
その他	12,672	16,085
投資その他の資産合計	85,760	44,434
固定資産合計	206,646	167,130
資産合計	1,740,064	2,058,294

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	219,093	132,548
短期借入金	120,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	119,772	174,924
未払金	120,886	135,169
未払費用	57,568	71,833
未払法人税等	27,311	80,528
ポイント引当金	1,316	812
返品調整引当金	7,255	6,173
賞与引当金	31,474	13,813
その他	20,780	50,609
流動負債合計	725,458	786,413
固定負債		
長期借入金	318,157	401,876
退職給付に係る負債	6,608	11,226
資産除去債務	14,070	14,096
固定負債合計	338,836	427,199
負債合計	1,064,294	1,213,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	89,037	89,037
資本剰余金	9,037	9,037
利益剰余金	572,113	730,150
株主資本合計	670,188	828,225
その包の括利益累計額		
為替換算調整勘定	5,580	16,456
その他の包括利益累計額合計	5,580	16,456
純資産合計	675,769	844,681
負債純資産合計	1,740,064	2,058,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年5月1日 至 平成27年1月31日)
売上高	4,325,600
売上原価	2,605,734
売上総利益	1,719,866
返品調整引当金戻入額	7,255
返品調整引当金繰入額	6,173
差引売上総利益	1,720,948
販売費及び一般管理費	1,454,855
営業利益	266,092
営業外収益	
受取利息	90
為替差益	9,489
その他	952
営業外収益合計	10,532
営業外費用	
支払利息	3,434
支払保証料	1,709
その他	682
営業外費用合計	5,826
経常利益	270,799
特別損失	
固定資産除却損	516
特別損失合計	516
税金等調整前四半期純利益	270,282
法人税、住民税及び事業税	112,688
法人税等調整額	△3,191
法人税等合計	109,497
少数株主損益調整前四半期純利益	160,785
四半期純利益	160,785

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年5月1日 至 平成27年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	160,785
その他の包括利益	
為替換算調整勘定	8,906
その他の包括利益合計	8,906
四半期包括利益	169,691
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	169,691
少数株主に係る四半期包括利益	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期連結累計期間(自平成26年5月1日至平成27年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	コマース事業	プラットフォーム事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	3,864,280	461,319	4,325,600	4,325,600
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	3,864,280	461,319	4,325,600	4,325,600
セグメント利益又は損失(△)	165,318	100,774	266,092	266,092

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。